

2023年度 発達障害支援スーパーバイザー養成研修 募集要綱

昨今、強度行動障害や発達障害関連の研修が増え、特性理解に基づく適切な支援の重要性の認識等が広がっていますが、研修で学んだものを実際の支援に結びつけることは難しく、支援のアドバイスやマネジメントができる人材の育成とそうした中核的な人材を育成し得る人材や体制を求める声が、さらに高まってきていると感じられます。

本協会では、実践から得られたノウハウや人材を活かし、そのような人材育成のニーズに応えるべく研修を実施して参りましたが、数年にわたる新型コロナウイルス感染症の流行により、研修の形式や内容を含め、ニーズがより明確になり、今年度、本研修の構成を大幅に変更することとしました。具体的には、支援者として学ぶコースと育成者として学ぶコースを明確に分け、支援者向けのベーシックコースは座学のみをコースに加え、育成者向けのアドバンスコースでは、ベーシックコースの受講を必須要件から外すとともに、修了後に学びを継続する場として、協会のブロック研修会等の活動に参加できる体制を作りました。

支援にしる、人材育成にしる、一朝一夕に実践力が向上することは望めず、どのような研修であっても受講後の研修の継続、他者との切磋琢磨、支え合いが必須です。本研修を入り口とし、地域のスーパービジョン体制に加わり、共に学び合い、助け合い、活躍していただけることを期待しています。

【目的】

自閉スペクトラム症をはじめとする発達障害児者への理解不足や間違った支援の結果、二次障害が生じることも少なくありません。その要因として、単なる知識を超えた実践的な理解をもたらす教育や研修の不足、それを可能にする適切なスーパービジョンの不足が挙げられています。本研修では、発達障害児・者への直接支援に携わる方だけでなく、相談、医療、保健、教育、労働の各分野等広く、発達障害支援の基礎を学びたい方に向け、第一人者による講義と全日本自閉症支援者協会加盟施設での実務研修を実施します。また、一定の実務経験を有する方を対象に、講義と事例検討会等を実施し、さらに協会内で研修を継続し、施設や地域で中核となる支援者を支え、育て、学び合い、スーパーバイザーを養成することを目指しています。

【主催】

一般社団法人 全日本自閉症支援者協会

【後援団体】

厚生労働省、文部科学省、日本自閉症協会、日本発達障害ネットワーク、日本自閉症スペクトラム学会、発達障害者支援センター全国連絡協議会、日本知的障害者福祉協会（依頼中）

【概要】

- ・ ベーシックコース(支援者向け)
Aコース(座学のみ):期間;8月1日～31日(オンライン)/定員;50名
Bコース(座学+実務研修):期間;座学;同上 実務研修(実地);9月～/定員;10名
- ・ アドバンスコース(育成者向け) 座学+演習
期間;座学;8月1日～31日(オンライン) 演習(対面 or オンライン):9月9日(報告会:12月9日)/定員;30名
- ・ アドバンス(育成者)コース修了後、協会ブロック研修会に無料で参加可能(2年間)

- ・ ブロック活動での研修企画・運営等への参画で、支援者・育成者・運営者としての研修継続が可能
- ・ スーパーバイザーとして一定の実践力を備えた方をマスターとして認定

【受講費用】

- ・ ベーシックコース : Aコース ; 10,000円 Bコース ; 30,000円
- ・ アドバンスコース : 20,000円

【申込み方法】

各コースとも、添付の申込書に必要事項を記入し、メール添付にて事務局にご送付ください。(郵送、ファックスでも受付可能です。)申込書内容確認後、事務局よりご連絡します。

※ 連絡は、原則、メールでお願いします。

※ 受信アカウント作成の必要上、名前のフリガナは必ずローマ字表記でご記入ください。

※ ベーシックBコース(座学+実務研修)、アドバンスコースは、申込時に、所属機関、団体等の推薦状をいただきます。

【申込み締め切り】

2023年7月21日(金) ※全コース共通

【その他】

平成30年度以前から発達障害支援スーパーバイザー養成研修を受講されている方も、問い合わせは以下でお受けします。

【問い合わせ・申し込み先】

一般社団法人全日本自閉症支援者協会

発達障害支援スーパーバイザー養成研修(全自者協・SV研修)

特定事務局 石井 啓 北川 裕(担当)

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 1-30-9 社会福祉法人嬉泉 子どもの生活研究所内

TEL:03-3426-2323 FAX:03-3706-7242

E-mail:sv-kensyuu@kisenfukushi.com

2023年度
発達障害支援スーパーバイザー養成研修
ベーシックコース
募集要項

【対象】

- ・ 知的・発達障害支援施設、学校・医療機関等で支援に携わっている方
- ・ 発達障害児者の医療、保健、福祉、教育、労働の実務に携わっている方
- ・ 強度行動障害支援者養成研修等で得た知識や考え方を深めたい方
- ・ 発達障害児者への支援をきちんと整理して学び、積み重ねるべき実践内容を明確にしたい方
- ・ 相談支援等の支援者で、発達障害児者に生活や活動の場面で直接接する機会を求めている方

【研修形式】

A コース：座学(eラーニング) Bコース：座学+実務研修

【内容】

◇ 座学

自閉スペクトラム症を中心とした発達障害児者への支援の基本的な知識・理念・技術

※ インターネットオンラインでのeラーニング形式で実施します。

座学(eラーニング)カリキュラム

	内 容	講 師	時間
A	『発達障害支援の基礎①』 ～医療とアセスメント～	日本自閉症協会 市川 宏伸	90分
	『発達障害支援の基礎②』 ～受容的交流～	全日本自閉症支援者協会 石井 啓	60分
	『発達障害支援の基礎③』 ～応用行動分析～	鳥取大学 井上 雅彦	90分
	『発達障害支援の基礎④』 ～TEACCH～	川崎医療福祉大学 諏訪 利明	90分
B	『発達障害支援スーパーバイザー養成の意義①』 当事者の立場から	NPO法人DDAC 広野 ゆい	60分
	『発達障害支援スーパーバイザー養成の意義②』 家族の立場から	日本自閉症協会 今井 忠	60分
	『発達障害支援スーパーバイザー養成の意義③』 施設支援の立場から	全日本自閉症支援者協会 松上 利男	60分
	『発達障害支援スーパーバイザー養成の意義④』 発達障害者支援センターの立場から	全日本自閉症支援者協会 五十嵐 猛	60分

◇ 実務研修（4～5日）

- ・ 協会加盟施設の支援の現場での実習を主体としたカリキュラム
 - ・ 自閉スペクトラム症を中心にした発達障害児者へのアセスメント・支援の計画立案ー支援の実施ー再アセスメントー修正のPDCAの体験と学び
 - ・ チーム支援、スーパービジョン、地域での連携等の体験と学び
- ※ 原則、近都道府県の協会加盟施設とし、事務局で調整決定させていただきます。
- ※ 4～5日連続での終日受講となります。遠方の場合、宿泊が必要になりますので、ご自身で手配をお願いします。（受入施設に宿泊可能な場合もあります。）
- ※ 実務研修は、感染症その他の状況、受入施設の事情により、延期等の変更が生じる場合があります。
- ※ 原則、受講者の在勤地の属するブロック（北海道・東北、関東、北信越、東海、近畿、中国・四国・九州）内の施設を事務局で指定させていただきます。（申込時にお問い合わせください）

実務研修カリキュラム(例)

月曜日				13:00～ 受付	14:00～ 17:00	○オリエンテーション 施設概要説明・見学 ○実務研修説明・研修計画確認
火曜日	9:00～ ○オリエンテーション	9:30～ ○臨床実習 活動支援	12:00～ 食事支援	13:00 休憩	14:00～ ○臨床実習 作業支援	17:00～ 振り返り
水曜日	9:00～ ○オリエンテーション	9:30～ ○臨床実習 作業支援	12:00～ 食事支援	13:00 休憩	14:00～ ○アセスメント・支援計画策定研修 支援会議 模擬アセスメント・立案	17:00～ 振り返り
木曜日	7:00～ ○オリエンテーション ○臨床実習 生活支援	11:00～ 休憩	13:00～ ○臨床実習 余暇支援	15:00～ ○スーパービジョン研修 支援会議 事例検討	懇親会等	
金曜日	9:00～ ○オリエンテーション ○臨床実習 生活・活動支援	12:00～ 生活支援	13:30 まとめ 考課 終了	15:00		

【受講時期・期間】

Aコース 座学：2023年8月1日(火)～8月31日(木)

Bコース 座学：2023年8月1日(火)～8月31日(木) 実務研修：2023年9月～

- ※ 実施スケジュール、実施施設は研修事務局にお問い合わせください。
- ※ B(講義+実務研修)の受講には、推薦状が必要になります。
- ※ 実務研修受講には、研修計画書・報告書(考課票)の作成・提出があります。
- ※ 実務研修のみの研修は実施しておりません。
- ※ 2020-2022年度受講開始された方も希望に応じて実施します。

【募集人数・募集期限等】

定員：Aコース(座学のみ)；50名 Bコース(座学+実務研修)；10名

募集期限：2023年7月21日(金) ※ABとも、定員になり次第締め切ります。

【受講費用】

A コース(座学のみ)：10,000円

B コース(座学+実務研修)：30,000円

※ 実務研修については、別途交通費・食費・宿泊代等の実費がかかりますので、予めご了承ください。

※ 受講取り止め時の返金に関して

- ・ 座学に関しては、入金からアカウント送付の間は、振込手数を差し引いて返金いたします。
- ・ 実務研修に関して、受入施設での準備費用と振込手数料を減じて返金します。受講者都合での取りやめの場合、交通費・宿泊代等の弁済は致しかねます。

【申込み方法】

添付の申込書に必要事項を記入し、メール添付にて事務局にご送付ください。(郵送、ファックスでも受付ます。)

※ Bコース(座学+実務研修)受講希望の方は、申込時に、所属機関、団体等の推薦状をいただきます。

※ 連絡は、原則、メールでお願いします。

※ 受信アカウント作成の必要上、名前のフリガナは必ずローマ字表記でご記入ください。

※ 修了書をお求めの方は、報告書の作成・提出をお願いします。申込時にご選択ください、

【申込みから修了までの流れ】

<Aコース(座学のみ)>

- ① 受講申込(申込書の提出)
- ② 申込書の内容確認後、受講料の振込案内
- ③ 受講料振込確認で受付完了(通知)
- ④ 配信元 Lean on Me 社より、アクセスアカウント送付 視聴状態の確認
- ⑤ 配信・受講・修了(期間内であればどの講義も何度でも視聴できます)

※ 受講修了書をお求めの方は、研修報告書を事務局にご提出ください。受理后、発送します。

<Bコース(座学+実務研修)>

- ① 受講申込(申込書・研修計画書)
- ② ・推薦状の発送)
- ③ 提出書類の内容確認後、受講料の振込案内
- ④ 受講料振込確認で受付完了(通知)
- ⑤ 実務研修受入施設担当者への引継ぎ(以降、担当者よりガイダンス・オリエンテーション)
- ⑥ 配信元 Lean on Me 社より、アクセスアカウント送付 視聴状態の確認
- ⑦ 講義配信・受講・修了(期間内であればどの講義も何度でも視聴できます)
- ⑧ 座学報告書を事務局に提出(受入施設との共有)
- ⑨ 実務研修実施
- ⑩ 実務研修考課票を事務局に提出、受講修了

※ 受講修了書をお求めの方には、考課票受理后、発送します。

【オンライン研修受講推奨環境】

○ パソコン(PC)

OS:Mac OS・Windows7, 8, 10 推奨ブラウザ:Google Chrome メモリ 2 GB 以上 (64bit OS)

解像度:1280 x 720 pixel 以上 インターネット接続:ブロードバンド接続を推奨

○ モバイル端末

端末:iPhone/iPad OS;iOS 12 以降 推奨ブラウザ;Google Chrome

Android OS;Android TM6 以降 推奨ブラウザ;Google Chrome

※ いずれのコースも音声付きです。学習する際には イヤホンやスピーカーなどをご用意ください。

※ アドバンスコースの演習は、記録の仕方も学べますので、PC での受講をお勧めします。

※ なるべく明るいところで学習しましょう。

【問い合わせ・申し込み先】

一般社団法人全日本自閉症支援者協会

発達障害支援スーパーバイザー養成研修(全自者協・SV研修)

特定事務局 石井 啓 北川 裕(担当)

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 1-30-9 社会福祉法人嬉泉 子どもの生活研究所内

TEL:03-3426-2323 FAX:03-3706-7242

E-mail:sv-kensyuu@kisenfukushi.com

2023年度
発達障害支援スーパーバイザー養成研修
アドバンスコース
募集要項

【対象】

- ・ 発達障害支援の実践経験はある程度積み重ね、チーム運営やメンバーの指導教育、育成を行っている方
 - ・ 所属施設等での人材育成や他機関との連携等において難しさを感じ、発達障害児者への支援についてのアドバイスやスーパービジョン、コンサルテーション等の技能を学び、所属施設や地域の中核的な支援指導者を目指している方
- ※ 2018年度までの旧体系(日本財団協賛)のベーシックコース未修了の方も受講できます。
- ※ 2019～2022年度までにアドバンスコースを受講された方は、追加された講義を無料で受講できます。PCAGIPによる事例検討会にもご参加いただけます。(有料) お問い合わせください。
- ※ 2018年度にアドバンスコースを修了された方で、PCAGIPによる事例検討会に参加を希望される方は、PCAGIP事例検討会の進め方のデモンストレーション等、現行のアドバンスコースの講義を受講されることをお勧めします。(お問い合わせください。)

【研修形式】

座学+演習 ※レポートがあります。

【内容】

◇ 座学

スーパービジョンやコンサルテーションを行う上での基礎的な知識や技能

- ※ 座学はオンラインオンデマンドのeラーニング形式で実施します。(YouTube)
- ※ 受講申し込み者以外の方、複数での視聴は厳禁でお願いします。

座学(eラーニング)カリキュラム

	研修内容	講師	時間
講義	『スーパービジョン・コンサルテーションの基礎』	社会福祉法人はるにれの里 加藤 潔	90分
	『スーパービジョン・コンサルテーションの基礎技術』 ～PCAGIPによる事例検討の進め方～	大正大学 玉井 邦夫	90分
	『支援者支援の重要性』(新規)	日本社会事業大学 藤岡 孝志	90分

受講期間

2023年8月1日(月)～8月31日(水) ※期間内であれば、何度でも繰り返し視聴可能です。

会場

視聴環境が整えば、職場でも自宅でもどこでも構いません。

◇ 演習：PCAGIPによる事例検討会（ハイブリッド）

- ・ スーパービジョンやコンサルテーションの基礎技能であるファシリテーション等の体験学習
- ・ 対面での演習とZoomでのオンライン演習を選択
- ・ 8名程度のグループで実施
- ・ 1セッション 90分程度

※ 各自検討したい事例の概要(悩み事、ジェノグラム・エコマップ)を別途事前に提出していただきます。

※ 全日本自閉症支援者協会関東ブロック研修会と合同で実施します。

※ 初回は必ず座学も受講ください。

※ 既にアドバンスコースを修了されている方は演習のみの参加もできます。

実施日

2023年9月9日(土) 9:00～13:00

※12月9日(土)に協会関東ブロックで、取り上げた事例への支援の経過報告会+αの研修会(オンライン)を行います。報告会部分は原則参加でお願いします。

会場

東京都内（オンラインでの参加も可能です。）

【募集人数・募集期限等】

定員：30名

募集期限：2023年7月21日(金) ※定員になり次第締め切ります。

【受講費用】

20,000円（座学+演習）

【申込み方法】

添付の申込書に必要事項を記入し、推薦状を添えて、メール添付にて事務局にご送付ください。(郵送、ファックスでも受付けます。)

※ 申込書内容確認後、事務局よりご連絡します。

※ 連絡は、原則、メールでお願いします。

※ 受信アカウント作成の必要上、名前のフリガナは必ずローマ字表記でご記入ください。

【申込みから修了までの流れ】

- ① 受講申込（申込書・推薦状の提出）
- ② 申込書等の内容確認後、受講料の振込案内
- ③ 受講料振込確認で受付完了(通知)
- ④ 事務局よりYouTubeURLの配布
- ⑤ 配信・受講（期間内であればどの講義も何度でも視聴できます）
- ⑥ 演習の案内 演習実施日直前・ZoomURLの配布等
- ⑦ 演習実施 会場 or オンライン
- ⑧ 研修報告書作成・提出、修了、ブロック活動への参加案内

※ 受講修了書をお求めの方には、考課票受理後、発送します。

⑨ 修了後

- ・ 2年間、事務局から協会ブロック研修会のご案内を差し上げます。研修継続ができます。(参加は任意です。)
- ・ 2年後以降、協会に加盟することで、ブロック活動(研修企画運営)に参画できます。
- ・ ブロック活動の中で、支援力・運営力・指導力を認められれば、マスター推薦を得られます。
- ・ 運営委員会(協会常任理事会)での審査の上、協会からマスターとして認定されます。

【オンライン研修受講推奨環境】

○ パソコン(PC)

OS:Mac OS・Windows7, 8, 10 推奨ブラウザ:Google Chrome メモリ 2 GB 以上 (64bit OS)
解像度:1280 x 720 pixel 以上 インターネット接続:ブロードバンド接続を推奨

○ モバイル端末

端末:iPhone/iPad OS;iOS 12 以降 推奨ブラウザ;Google Chrome
Android OS;Android TM6 以降 推奨ブラウザ;Google Chrome

※ 演習は応答があります。外部の音が混じらないよう、個室やヘッドセット等のご用意をお願いします。また、記録の仕方も学べますので、PC での受講をお勧めします。

※ なるべく明るいところで学習しましょう。

【マスター認定について】

【対象】

- ・ 支援・人材育成・組織運営等の実践力が優れている方
- ・ 本研修アドバンスコース修了後、協会ブロック研修会への参加、育成者としての技能の発揮、ブロック活動での研修企画運営等で活躍した方

【認定の流れ】

ブロック活動内での活躍により、前任のマスターから推薦し、SV 研修運営委員(協会常任理事)による選考・認定します。

受講申込書（ベーシックコース）

フリガナ(ローマ字) *1		希望コース *2	A(座学のみ) ・ B(座学+実務研修)
名 前 *3		男・女	() 歳
所 属	法人・団体等： 施設・学校等：		
職 種	生活介護・就労支援・相談支援・教育・その他()		
資 格			
連 絡 先 *4	<input type="checkbox"/> 職 場	<input type="checkbox"/> 自 宅	
	〒	〒	
	TEL: FAX: E-mail:	TEL: FAX: E-mail:	
職歴等			
受講理由	<p>【発達障害支援の基礎知識の習得・向上】 具体的に:</p> <p>【発達障害支援の技能の習得・向上】 具体的に:</p> <p>【その他】 具体的に:</p>		
修了書 *5	希望する・希望しない (希望される方は、報告書の作成・提出が必要です。)		
備 考			

※Aコース(座学のみ)受講を希望される方は、*1, *2, *3, *4, *5 以外の記入は任意です。

*1:eラーニングの受信アカウント発行に必要です。必ずローマ字表記で記入してください。

*2:Bコース(座学+実務研修)受講を希望される方は、推薦状(別紙)をご提出ください。

*4:主な連絡先を☑してご記入ください。連絡方法は原則メールでお願いします。職場を希望される方は、所属もご記入ください。

受講申込書 (アドバンスコース)

フリガナ(ローマ字)		演習希望 *1	対面 ・ オンライン
名前		男・女	() 歳
所属	法人・団体等: 施設・学校等:		
職種	生活介護・就労支援・相談支援・教育・その他()		
資格			
連絡先 *2	<input type="checkbox"/> 職場	<input type="checkbox"/> 自宅	
	〒	〒	
	TEL:	TEL:	
	FAX: E-mail:	FAX: E-mail:	
職歴等			
受講理由 *4	<p>【スーパービジョンの基礎知識の習得・向上】 具体的に:</p> <p>【スーパービジョンの技能の習得・向上】 具体的に:</p> <p>【発達障害支援の知識・技能の向上(スーパービジョンのために必要なもの等)】 具体的に:</p> <p>【その他】 具体的に:</p>		
備考			

*1:演習の希望形式を必ず記入してください。対面での演習の会場は東京都内です。

*2:主な連絡先を☑してください。連絡方法は原則メールでお願いします。

受講推薦状

年 月 日

一般社団法人 全日本自閉症支援者協会

機関名 _____

所在地 _____

電話番号 _____

代表者氏名 _____ 印

下記の者について、発達障害支援スーパーバイザー養成研修ベーシックコース・実務研修の受講を推薦します。

氏 名	(生年月日: 年 月 日)
所属・役職等	
現所属での 主な経歴	
現在の主な 業務内容	
推 薦 理 由	

受講推薦状

年 月 日

一般社団法人 全日本自閉症支援者協会

機 関 名 _____

所 在 地 _____

電 話 番 号 _____

代 表 者 氏 名 _____ 印

下記の者について、発達障害支援スーパーバイザー養成研修アドバンスコースの受講を推薦します。

氏 名	(生年月日: 年 月 日)
所属・役職等	
現所属での 主な経歴	
現在の主な 業務内容	
推 薦 理 由	

実務研修考課票(ベーシックBコース)

ふりがな		受講番号	実務研修受講回数
名 前			回目
研修実施施設		受入担当者	
実習期間	年 月 日 ~ 年 月 日		
研修考課	【発達障害の特性理解について】 <input type="radio"/> 習得できた点 <input type="radio"/> 今後の研修課題		
	【アセスメントについて (状態、背景、課題目標、支援方法 / 個々の行動の意図や理由他)】 <input type="radio"/> 習得できた点 <input type="radio"/> 今後の研修課題		
	【支援について (環境調整、コミュニケーション、対人関係、発達支援、自立・自律支援、社会化に向けた支援等)】 <input type="radio"/> 習得できた点 <input type="radio"/> 今後の研修課題		
	【その他 (チーム運営 記録類、スーパービジョン等)】 <input type="radio"/> 習得できた点 <input type="radio"/> 今後の研修課題		
今後の 研修計画			
受入担当者 コメント			

※ この研修考課票は、受講者ご自身の今後の研修のためのものです。体験の振り返り、整理のためにお役立てください。

※ 「受入担当者コメント」は、受講者が心に残った実務研修受け入れ担当者の言葉、お話を記入してください。

